

# 庁舎活用、市イベントについて 地域審議会が答申

7月末、各地域審議会が、市長の諮問に対して答申書を提出しました。地域審議会は、旧市町ごとに設置され、新市のまちづくりについて、意見を述べる組織です。

審議会では、次の諮問事項（市の案を了承し、関連する意見が出されました）

## 諮問事項(市の案)

- 一丈庁舎
- 二階図書館
- 三階学習室、ミーティングルーム、子育て支援センター機能、市民ホール(旧議場)



市を代表するイベントの検討

志摩庁舎  
「本館3階」教育関連施設、市民ホール(旧議場)

「第二庁舎1階」芸術文化活動支援施設、図書館  
「第二庁舎2階」起業家支援施設、会議室

## ◆新市のイベント

### ◆基本的な考え方

- ①市民や各種団体で実行委員会を組織し、市を代表するイベントを年1回実施する。
- ②「地域活性化や一体性の醸成、糸島市のPR」を目的に開催する。
- ③メイン会場とサテライト会場を設け、地域の特性を生かした催しを行う。
- ④花火大会を実施する。
- ⑤費用は、会費、協賛金、市補助金を充てる。

⑥詳細は、準備委員会を設けて協議する。

## 地域審議会の主な意見

### 一丈・志摩庁舎の活用

- 各館のネットワーク(相互利用、機能分担)やばびるす号を活用することで充実に努めてほしい。
- インターネット環境の整備やネット予約、DVD貸し出しなど関連サービスをお願いする。
- 必要な人員の配置と新刊を含む蔵書の充実を図ってほしい。
- 二丈庁舎
  - 継続して子育て支援センターを設置してほしい。
  - 健康づくりなど、高齢者が活気づく施設として活用を

検討してほしい。  
志摩庁舎  
●芸術文化活動支援施設は、作品展示↓工房などの紹介↓販売拡大↓地域活性化という流れができるような整備をしてほしい。

別館には、交流スペースの確保をお願いする。

## ◆新市のイベント

- 魅力発信に重点を置き、収穫祭を基本としたイベントにしてほしい。
- 一体感醸成のため、子どもから高齢者まで多くの人が参加できるようにすべき。
- 地域特性・資源を生かしたイベントにしてほしい。
- アイデアを公募してほしい。
- 市は、財政支援を継続すべきである。
- 特産品の販売を行う場合は、収穫時期などを十分考慮し

## 別表 地域審議会委員の構成

区分	前原地域	二丈地域	志摩地域	
公共的団体	区長会	川上 幸太	中川 慶典	二木 正伸
	女性団体	小島 幸江	谷口 洋子	坂本 朱美
	農協	岡崎 秀康	石井 徳雄	永翁 和成
	商工会	島崎 光	那須 英仁	山崎 九十九
	民生委員 児童委員	山下 喜暉	森園 武彦	溝部 秀輔
	老人クラブ	井上 九十九	和田 幸	吉村 勉
学識経験者	漁協	鍋嶋 民生	阿部 周一	山本 峰次
		井上 智	兵庫 金作	小河 俊和
		仲西 まゆみ	田中 輝子	白石 久美子
		牛原 信子	藤本 万里子	栗原 なぎさ

て開催時期を検討すべきである。

アンケートなどで地域の意見を聞き、各種団体で構成する実行委員会で十分検討してほしい。

これらの答申を基に、二丈・志摩庁舎の活用やイベントの実施に関して市の方針を決定します。

## 問い合わせ

糸島市経営企画課  
☎(0332)2061

# 糸島のお年寄りを支える人々の集い

## これから糸島市のお年寄りをどう支えていきますか

みなさん、家庭や地元で、ボランティア、仕事などでお年寄りを支える人たちを存じますか。こら糸島と、県NPO・ボランティアセンターでは、いろいろな立場の人たちを集め、どのようにお年寄りを支えていくか、話し合います。

この集いでは、いろいろな立場の人が集まり「これからどうやって支えていくか」などといった難しい話を柔らかく、楽しく、気軽に語り合います。がんばっているみなさんが「主役」の集いです。みなさんの日ごろの苦労や悩み、工夫やアイデアを聞いて、話して、ともに分かち合いませんか。

開催日など 別表のとおり

定員 50人

対象 関心のある方ならどなたでも参加できます。

参加費 無料

世話役 今村晃章さん

申込方法 電話またはFAX



世話役の今村晃章さん

X、Eメールでお申し込みください。  
※住所・氏名・電話番号を明記のこと。

申込期限 9月25日(土)

## 申し込み、問い合わせ

糸島市NPO・ボランティアセンター「こら糸島」  
☎FAX(0332)9181  
koraboo@city.itoshima.lg.jp

## 別表 糸島のお年寄りを支える人々の集い

回	期日	時間	会場	テーマ
1	10/1(金)	13:30~15:30	糸島市健康ふれあい施設 二丈温泉きららの湯	今、どうやって支えていますか?
2	10/14(木)	14:00~16:00	糸島市健康福祉センター 「あごら」	どうすればもっと良くなりますか?
3	10/28(木)	13:00~15:30	糸島市健康福祉センター 「ふれあい」	自分たちにできることって何だろう?

## 2010 国勢調査 平成22年10月1日

10月1日は、5年に一度の国勢調査の日です。わたしたちの暮らしに役立てられるたいせつな調査ですので、提出をお願いします。

### 全20項目を調査

国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住むすべての人・世帯を対象に実施する調査です。

氏名、男女の別、出生の年月、就業状況、通勤・通学地、住居の種類など、全20項目を調査します。

調査結果は、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしに役立てられます。

### 調査票の配布・記入

9月中旬から、調査員が担当地域の各世帯を訪問します。調査票を受け取ったら、あなたの世帯の世帯員の分まで、漏れなく記入してください。

### 調査票の提出

10月の中旬から中旬にかけて、あらかじめ調査員が調査票を回収します。

記入した調査票は、封筒に入れて封をし、調査員に渡していただくか、専用の郵送提出用封筒に入れ、市に直接提出してください。

### かたり調査に注意

調査員は、顔写真入り調査員証を携帯しています。国勢調査を装った不審な訪問者や、電話・電子メールにはご注意ください。

### コールセンターを設置

総務省では、調査に関するさまざまな問い合わせに対応するため、コールセンターを設置しています。全国各地からでも市内通話料金で利用できます。ぜひご利用ください。

### 設置期限

10月31日(日)

### 受付時間

8時から21時まで(土・日・祝日も利用できます)

### 電話番号

☎0570(01)2010

### 問い合わせ

市経営企画課  
☎(0332)2061